

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3642
事務事業名	4289 通常保育事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の充実											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	事業	030000 通常保育事業										
事業目的						事業概要・効果						
保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。						保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
保育の実施延児童数11,031人	保育の実施予定延児童数11,256人
平成29年度 実績	平成30年度 実績
保育の実施予定延児童数11,527人	保育の実施予定延児童数11,448人
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
保育の実施予定延児童数11,400人	保育の実施予定延児童数11,300人

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		411,917	410,672
特定財源	国庫支出金	558	512
	都道府県支出金	1,315	3,032
	地方債	0	0
	その他	20,512	101,183
一般財源		389,532	305,945
人員数(人)	正規職員	60.7	56.7
	嘱託職員	46.8	61.3
	臨時職員	55.5	54.0
人員コスト	正規職員	434,005.0	405,405.0
	嘱託職員	134,550.0	176,237.5
	臨時職員	69,097.5	67,230.0
	計	637,652.5	648,872.5
市民一人当たりの経費		20.1	20.3
総額		1,049,569.5	1,059,544.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	28	謝礼28
11節 需用費	90,970	賄材料費等80,004
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	201	通園費補助金201
その他	320,718	嘱託人件費203,676

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	28	謝礼
11節 需用費	94,360	賄材料費他
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	238	通園費補助金238
その他	316,046	嘱託人件費等310,998

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育所の運営には必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保育所の運営は有効的である	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	公立保育所の運営には非常勤保育士の活用は必要不可欠	

振り返り（決算年度の取組み課題）
正規保育士の増員が見込めないことから、嘱託・臨時保育士の活用は今後も拡大する見込み

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
年度当初からの前倒し雇用等を図ることで、嘱託・臨時保育士を確実に確保し、待機児童ゼロを維持する必要がある。		待機児童を出さない体制整備が喫緊の課題	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	